

山ノ内町ため池ハザードマップ 剣沢

測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R 3JHs 705 【背景地図】

凡例

 指定緊急避難場所 兼 指定避難所

ハザードマップ注意点

- ・当ハザードマップの浸水解析区域は、ため池決壊時の最大影響範囲を想定しており発生時の条件により影響範囲は変わります。
- ・自分の家が浸水区域内の場合は、避難場所を確認しておきましょう。安全な親戚や知人宅等も選択肢の一つです。
- ・浸水区域外の場合は、避難の必要はありませんが、河川の洪水や土砂災害の危険性がある場合は、その状況によっては避難する必要があることに留意しておきましょう。

情報伝達経路

ため池管理者

山ノ内町役場

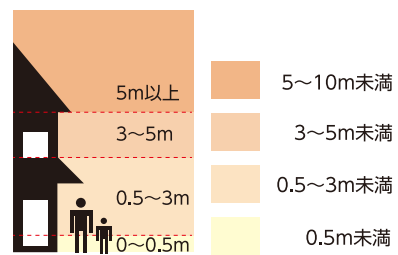
防災行政無線、緊急メール(登録者)
インターネット(HP)

住民の皆さん

浸水範囲の避難について

- 0.5~3.0m
平屋の場合は立ち退き避難、建物が2階以上の場合は上階居室へ移動
- 0~0.5m
屋内安全確保も可能

想定浸水深の凡例



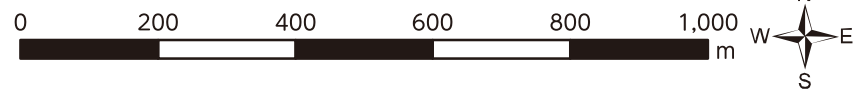
・このハザードマップは『SIPOND(ため池氾濫解析ソフト)』の解析結果をもとに作成したものです。
SIPONDは「国立研究開発法人 農業・食品産業技術研究機構」監修のもと「㈱ニタコンサルタント」が開発したソフトです。

・背景地図については、国土地理院基盤地図情報に基づいています。

・氾濫解析については、国土地理院より平成29年に発行された地形図に基づいて作成を行っています。

剣沢
天端幅 B= 6.5m
堤高 H= 14.7m
堤頂長 L= 97.0m
貯水量 V=36,000m³

剣沢



決壊後60分で到達

決壊後30分で到達

決壊後15分で到達

決壊後10分で到達

決壊後5分で到達

剣沢

黄蓮沢

源田沢

雑魚川

雑魚川
源田沢

2022年3月作成